

# 漆を用いた男性向け装身具

A2201223 坂場風太

## 研究の背景・概要

今回私は第一線で活躍する、男性に向けた漆を用いた装身具を提案する。

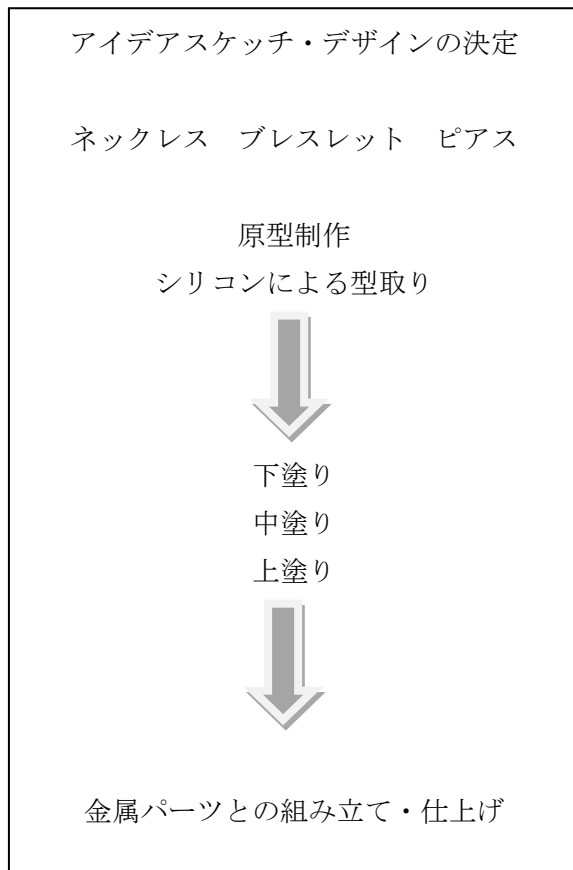
ファッションを中心としたトレンド関連の業界を率い、流行を創出する大人の男性、装身具を通し自己を表現しようとする男性に向けての提案である。そのような男性となれば、社会的な地位もある程度確立し、また思考としても他との違いや、自らのこだわりを強く意識する傾向が強い。自ら身に着けるものとなれば尚更その意識は反映される。

そこで、他に例の少ない「漆」を用いた男性向けの装身具を製作する。漆という特別な素材に興味を持ち、手にとってもらふ事で社会的な影響も生まれ、漆というものに対する認知度の向上、固定概念の払拭にも繋がる。

## 研究の目的

- ・漆という素材を用いることで他の装身具との差別化を図り、興味を抱いてもらえるようにする。
- ・装身具という身近な存在として、漆を身に付け、感じてもらえる作品の製作。  
(漆という素材の固定概念の払拭、認知度の向上を狙う。)

## 製作過程



工作用パテによる原型制作



表面処理作業



シリコン・ウレタンによる型取り

## 考察・感想

装身具というありふれた存在の中で、「漆」は特別な輝きを放つ素材となると改めて感じる事ができた。また、装身具という身近な存在であるからこそ、認知度の向上や、新たな漆の可能性というものに近づけたのではないだろうか。簡単には量産ができず、また塗り一つをとっても同じものはひとつとして同じものは出来上がらない。

ひとつひとつが個性を持った表情を見せることができる存在、それこそが「漆」の可能性であり、また装身具の可能性でもある。

一からすべてを作り出すことは非常に苦労が多く、行き詰ることもあった。しかし、思い描いた形が出来上がる喜びは何物にも変えがたいものであった。